

つなぐ



新玉地区 トワイライト新玉
桑原地区 くわばら来てみん祭
日浦地区 川の郷ホテル祭り
まちづくり人財育成アカデミー
雄郡地区 親子防災1DAY キャンプ
余土地区 よど子ども夏フェス

3大学の学生40名が参加！多世代で盛り上げる夏祭りトワイライト新玉.....



7月18日(土)、新玉小学校で、新玉地区まちづくり協議会と新玉公民館が共催する夏祭り「トワイライト新玉」が開催されました。会場では、水軍太鼓やダンスの披露、盆踊り大会が行われたほか、各種団体によるフードやゲームの出店が立ち並び、多くの来場者で賑わいました。

また、まちづくり協議会と大学生の連携事業として、愛媛大学・聖カタリナ大学・人間環境大学の学生約40人が参加。バナナスムージーやベビーカステラ、チュロス、わなげ、宝石すくい、くじ引きなどの出店で祭りを盛り上げ、訪れた子どもたちを楽しませました。

祭りの終盤には大抽選会が行われ、子どもから大人までが大盛り上がり。続いて、フィナーレを飾る打ち上げ花火が夜空に上がると、会場は大きな歓声に包まれ、思い出に残る楽しい夏祭りとなりました。

再々！

くわばら来てみん祭



地域が団結して大盛況！食べて、遊んで、学んで、桑原を満喫

6月21日(日)、畑寺福祉センターで、桑原地区まちづくり協議会主催イベント「くわばら来てみん祭」が開催されました。一昨年度、協議会設立15周年を記念して初開催された本イベントは、今年で第3回目を迎え、桑原地区の初夏の風物詩として定着しています。

当日は、天気にも恵まれ、会場は地区内外から訪れた多くの人々でいっぱい。屋外では、まちづくり学生部や青壮年部などによるフードコーナー、パトカー・白バイの乗車、煙体験が行われたほか、屋内では、松山東雲女子大学・短期大学の学生やくわばらジェンヌによるキッズコーナー、獅子舞の披露、お茶席、安全安心部と自主防災会、女性防火クラブによるカレーの炊出しなどが行われ、盛りだくさんの企画に、訪れた人々は夢中になっていました。

さらに、会場内に現れた桑原地区まちづくり協議会マスコットキャラクター「くまばらさん」は子どもたちに大人気。くまばらさんにじゃんけんで勝つと景品をもらえる素敵な企画も。

イベントは、来年も6月の第3日曜日(父の日)に開催予定です。楽しみにお待ちください。



日浦地区 川の郷ホタル祭り

日浦地区では、6月の毎晩「川の郷ホタル祭り」を開催しており、日浦地区まちづくり協議会が協力しています。

会場には、1,800本の竹灯籠が立ち並び、参加した皆さんは、ロウソク一本一本に火を灯して歩いていきます。なんと、竹灯籠は全て地元の皆さんの手作り。1シーズンで竹の色が変わってしまうため、毎年新調しているとのこと。ロウソクの温かい灯火やホタルの光が、川辺や小道を彩る幻想的な空間を体験できます。

ホタルの見頃は、ゲンジボタルが多く川沿いで飛び交う6月下旬頃まで。来年の夏は、ぜひ日浦にお越しください。

日浦地区で見られる主なホタル



ゲンジボタル

5月下旬～6月下旬・ゆったり点滅



ハイケボタル

6月下旬から7月頃・テンポよく点滅



まちづくり人財育成アカデミー開講

第2期は22人が参加

6月20日(土)、令和8年度まちづくり人財育成アカデミーの開講式が開催されました。

地域の担い手確保や持続的な発展に向けて、地域資源を最大限活用し、地域課題を解決することができる人(=まちづくり人財)を育成するため、昨年度からスタート。

第2期となる今年度は、まちづくり協議会や地域協働団体などから推薦のあった15人に、昨年度の第1期から引き続き参加するメンバーを加え、22人が参加しています。

開講式では、まちづくり人財育成アカデミー運営委員会の前田 眞委員長が「地域資源を活かしたまちづくり」について講演したあと、3つのグループに分かれ、「アカデミーでやってみたいこと」について意見交換を行いました。

アカデミーは、今年度を通して全10回開催され、年度末には、グループ活動の成果発表を行う予定です。



雄郡地区

親子防災1day キャンプ



7月23日(木)、雄郡地区まちづくり協議会が、災害時の一時避難所である空港通1・2公園で、「親子防災1DAY キャンプ」を開催しました。

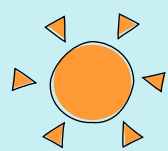
キャンプ体験と避難所体験を通じて親子の絆を深めようと開催されたイベントには、地区内の親子15組が参加。隣接するまつやま Re・再来館(通称「りっくる」)で地球温暖化と防災について学び、公園でテント張りを体験したあと、今回の体験の目玉「サバメシ(サバイバルメシ)」づくりに挑戦しました。大人の指導を受けながら、子どもたちも一生懸命取り組んでいました。

イベントを通して楽しく防災を学ぶことができ、災害時に向けた日ごろの備えを意識するきっかけになったようです。

災害時の豆知識 ☯ ～サバメシとは？～

限られた道具や食材で作る、災害時を想定した料理のこと。

今回の体験では、空き缶を2つ重ね、下段をコンロ代わりにして牛乳パックの切れ端を入れて燃やし、上段でお米を炊きました。



地域でつくる子どもたちの居場所 よど子ども夏フェス



余土地区まちづくり協議会は、長期休暇中に子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、地域愛を育むことを目的に「サードプレイスよど」事業を行っており、8月8日(土)、「よど子ども夏フェス」を開催しました。

松山市役所清掃課による環境学習講座や余土中学校ソーラン隊による演舞のほか、スーパーボールすくいやボーリング、輪投げ、ミニボッチャ大会、高校生によるきらきらスライム体験など、子どもが楽しめる企画が盛りだくさん。また、中学生がボランティアとして参加し受付やゲームの運営を行うなど、多世代が団結してイベントを盛り上げました。



第50回記念 まちづくりで輝く人

地域で活躍している人をご紹介します



雄郡地区まちづくり協議会
安全安心部 宮内 敬典さん(84)

趣味・特技

木工細工、釣り、ダイビング、
メダカの飼育、山登り

1. 雄郡地区の魅力を教えてください。

人口3万人を超える松山第2の都市ともいえる大きな地域です。様々な名所や旧跡があるところも魅力だと思います。

2. まちづくり協議会で活動していて良かったことを教えてください。

活動をしていないと出会えなかった人と知り合い、人と人との繋がりの輪が広がっていくことが良かったと感じています。また、長年地域活動をされている方から教わることも多く、勉強になります。

3. 「親子防災1DAY キャンプ」で印象に残っていることを教えてください。

スタッフのサポートのもと、子どもたちが「サバメシ」づくりに一生懸命取り組み、「すごくおいしい」と食べていた姿が印象に残っています。また、数回目の参加者が教える側に回るなど、学びの循環ができています。

4. 今後の活動の目標を教えてください。

「楽しい」「またやりたい」と思ってもらえるような活動を続けていき、多くの人に実際に体験することの大切さを知ってもらいたいと思います。

今回の「まちづくりで輝く人」では、まちづくり推進課のインターン生4人がお話を伺いました！

経験や特技を生かして地域活動を行うことのやりがいや、縦と横の繋がりの大切さを感じました。実体験の機会が少なくなっている現代だからこそ、こういった体験型の地域活動にも積極的に参加していきたいです。



HP : <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

発行 : 松山市役所 まちづくり推進課

TEL : (089)948-6963

FAX : (089)934-1821



ホームページ



Facebook

<設立状況(R8.8.1) 全41地区中>

まちづくり協議会 31(33地区)

まちづくり協議会準備会 0(0地区)



幸せになろう。
松山市
MATSUYAMA CITY